

日本看護協会は、国民への質の高い医療の提供を目的に資格認定制度を創設し、22年目になります。特定の専門看護分野の知識・技術を深め、保健医療福祉の発展に貢献し併せて看護学の向上をはかることを目的として13分野・2,075名の専門看護師と、看護現場における看護ケアの広がりや質の向上をはかることを目的に21分野・18,542名の認定看護師を社会に送り出しています(平成30年3月現在)。宮崎県内では、専門看護師12名(4分野)と認定看護師133名(17分野)が活動しています。県民の皆様へ、県内で活動する専門看護師・認定看護師の活動内容を広く知ってもらい、皆様のお役に立てるような内容を情報発信する活動も2年目になりました。今後も継続して、この活動に取り組んでまいります。

「マルトリートメント」をご存知ですか？

小児救急看護認定看護師 野崎 久美(宮崎大学医学部附属病院)



★マルトリートメントとは？

「マル(mal)」は「悪い」、「トリートメント(treatment)」は「扱い」が組み合わさった単語で、「不適切な養育」を指します。虐待とほぼ同じ意味ですが、暴力や育児放棄だけでなく、子どもの発達に不適切な行為すべてを言い、虐待より広い意味で使われます。心ない言葉、無視、放置、過干渉、兄弟との比較などの行為に加え、子どもの前で繰り広げられる激しい夫婦喧嘩などがマルトリートメントです。



★マルトリートメントが子どもの脳にあたえる影響

最新の研究で、子どもの脳は極度のストレスを感じると、その苦しみから逃れようと自ら変形させ、成長してからうつ病など悪影響を及ぼす可能性があるとわかってきました。

マルトリートメントによる子どもの脳の変化

- ◆暴言を受けた子ども ⇒ 「聴覚野」が肥大し、心因性難聴や会話力が低下します
- ◆家庭内暴力を目撃した子ども ⇒ 「視覚野」が縮小し、他人の表情が読み取れなくなります
- ◆夫婦喧嘩を頻繁に見て育った子ども ⇒ 「視覚野」が縮小し、語彙や理解力が低下します
- ◆体罰を受けてきた子ども ⇒ 「前頭前野」が委縮し、感情のコントロールがきかなくなります
- ◆ネグレクト(育児放棄) ⇒ 「扁桃体」が委縮し、情緒不安定になります
- ◆長時間スマートフォンを触っている子ども ⇒ コミュニケーションが極端に減少し、感情をコントロールする「脳梁」が縮小し、その結果、集団行動ができなくなってしまいます

*子どもの脳はとても柔らかく回復力を持っているので、一度変形してしまっても治療で軌道修正できます。



★どうすればいい？子どもへの接し方

子どもと接するなかで、マルトリートメントがまったくないという家庭は存在しません。大事なのは、マルトリートメントの理解を深め、そうした行為が誤りだと認め、改めることで状況は回復できます。

子どもへの接し方の具体例

- ◆子どもを叱るときは60秒内で(長時間の説教は感情的になり、ただの暴言となる)
- ◆イライラしたら、深呼吸または別の部屋に行く
- ◆具体的に褒める
- ◆行動を言葉にする
- ◆子どもを抱きしめる(親と子どもの脳から“愛情ホルモン”と呼ばれるオキシトシンが分泌される) など



一人で抱え込まずSOSを！



子どもを育てる、ということは大変なことです。育児の負担を一人で抱え込まずに、最寄りの市町村の子育て相談窓口または児童相談所全国共通ダイヤル「189(いちはやく)」にご連絡ください。